



下野家枝垂れ桜（大垣市景観遺産）

計画歩み中！

「歩くまち・墨俣」ビジョン ＝フィールドミュージアムすのまた＝

墨俣地域まちづくり協議会では、コンパクトなまちである墨俣の特性を活かしながら、人が主役となる歩くことを中心としたまちづくりを推進するため、「歩くまち・墨俣」ビジョンの検討を重ねています。

「墨俣」は、古くから美濃路や鎌倉街道の交通の要衝として繁栄してきた宿場町であり、数々の名所・旧跡が点在する歴史と文化の豊かなまち（フィールドミュージアム）です。

交通手段の発達により、岐阜市、羽島市、瑞穂市などと隣接する好条件によって、住宅地域として発展し、住みやすいまちへとその姿を変えてきました。しかし最近では、賑わいを見せていた中心地域は空き家・空き地が目立ち始め、かつてのまちの魅力も失われつつあり、今は安心して快適に「歩くこと」ができたまちの名残をわずかに漂わせているに過ぎません。

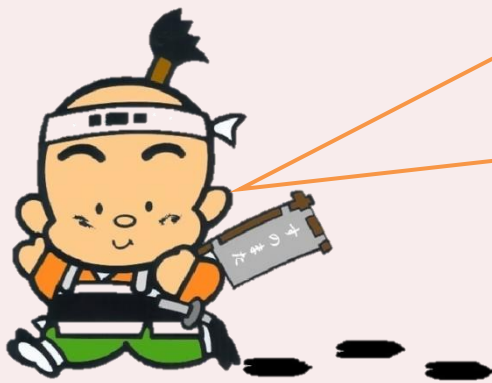
平成26年度から美濃路墨俣宿の雰囲気醸し出すため、旧美濃路沿いとその周辺において、各家の軒先などに行燈を設置する事業を展開しています。

そこで、行燈の設置を契機に「歩くまち・墨俣」ビジョンを検討することとなり、以下その概要についてご紹介します。

「歩くまち・墨俣」ビジョン

＝フィールドミュージアムすのまた＝

とは・・・



ビジョンの基本理念と四つの視点

このビジョンの基本理念は、「コンパクトなまちである墨俣の特性を活かしながら、人が主役となる歩くことを中心としたまちづくり」とし、「歴史・文化」、「街並み」、「交流・安心安全」、「緑と田園」の四つの視点からそれぞれ施策を考え進めていきます。

歴史・文化

歴史・文化資源を活用し、教育と交流、伝承に関わる施策を検討します。

検討施策：歴史文化施設への案内表示の整備、墨俣を題材とした「ふるさとカルタ」作り、歴史資料や石碑の設置、改修等。

平成 26 年度、27 年度に、美濃路に 4 箇所、鎌倉街道に 3 箇所、路面表示を設置しました。今後も設置していく予定です。



カルタもリニューアルしたい。。。。



街並み

美濃路、鎌倉街道を始めとした、ハンドメイドで賑やかな街並みを形成する施策を検討します。

検討施策：美濃路、鎌倉街道を歴史の道とし舗装色を変化させたり共通モチーフとしての行燈を整備、作品展の開催等。

平成 26 年度、27 年度に、皆様のご協力のもと、美濃路界隈に行燈が 197 個設置されました。平成 28 年度も募集する予定です。ご協力をお願いします。



交流・安心安全

楽しく集う拠点づくり、安全に歩ける道づくり、観光情報の発信に関わる施策を検討します。

協議会の facebook ページ
<https://www.facebook.com/sunomatachiiki/>



検討施策：個人宅や空き家を利用したの拠点作り。ポケットパークやトイレの整備。消火栓、AEDの設置場所のマップ作り、ICTを活用した交流等。

緑と田園

緑化と緑の保全、自然を活用した体験活動、農作物を用いた商品開発に関わる施策を検討します。



検討施策：墨俣独自デザインのプランターの設置、紅葉・梅・桜の植栽、墨俣オリジナル食品や象徴の考案等。



全国育樹祭で使用されたプランターを再利用し、墨俣全域で 50 個配布し、設置されました。



つりびな小町めぐり2016

—みんなで協力し合って大成功！—



いき粋墨俣創生プロジェクト主催のつりびな小町めぐりで楽しみました。33か所の巡り先で、それぞれに趣向を凝らした展示がされました。



初日のおもてなし清掃には100名以上の参加があり、今年は墨俣小6年生の児童の皆さんも自主的に参加していただきました。



スタンプラリー抽選会場では、墨俣小学校6年生の児童の皆さんにもスタッフとして入っていただきましたが、とてもかわいらしく、しっかりとした対応で大好評でした。その他、民生児童委員、シニアクラブ、婦人会、すのまたまちづくり倶楽部の皆さんにも協力していただきました。



体育振興会主催のつりびなウォークでは50名参加があり、ゴールでは、温かい豚汁がふるまわれました。



交通安全協会の皆さんには、2週間の長い間つりびなめぐりをする人々の安全を見守っていただきました。



最終日は、商工会の出世市！今回特別に抽選会も企画され大変賑わいました。



光受寺のしだれ梅のライトアップに合わせて、夜のつりびなめぐりが開催されました。まちなかには、「美濃路墨俣宿」の行燈に加え「墨俣一夜城築城450年」の行燈もともされ、あたたかい雰囲気醸し出されました。